

令和 4 年 3 月 2 8 日

令和 3 年度 特別の教育課程の実施状況等について

愛知県		
カリキュラム開発拠点校	管理機関名	設置者の別
愛知県立千種高等学校	愛知県教育委員会	公立

※教育課程の特例を活用していないが、令和 3 年度の実施状況等を以下に記載。

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

カリキュラム開発拠点校	自己評価結果の公表	学校関係者評価結果の公表
愛知県立千種高等学校	https://chigusa-h.com/	https://chigusa-h.com/

※結果公表に関する情報について、ウェブ上で公開している場合は公開しているウェブページの URL を記入すること。ウェブ以外で公開している場合は、公開している情報を閲覧できる場所・方法等を適宜記入すること。

2. 特別の教育課程の内容

- (1) 特別の教育課程の概要

国際教養科において、学校設定教科「国際教養」を設定し、この中でSDGsに関する探究活動を行う新科目「グローバル探究」を設置した。このほか、様々な英語の授業に加えて地域研究、第二外国語などの授業を通し、国際情勢の理解を促進している。

- (2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

WWLの目標に掲げた「次世代型イノベティブ・グローバル・リーダー育成」のため、生徒が国際情勢やSDGsへの理解を深め、また、幅広く学ぶことで豊かな教養を身に付けることができるようにするため。

- (3) 特例の適用開始日

令和 3 年 4 月 1 日

- (4) 取組の期間

令和 6 年 3 月 3 1 日まで

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- 一部、計画通り実施できていない
- ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- 実施していない

<特記事項>

特記事項なし

4. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

学校設定教科「国際教養」において新科目「グローバル探究」を設置し、外部機関とも連携してカリキュラム開発を進めている。「グローバル探究」においてはSDGsに関する探究活動、発表などを通じて生徒の問題設定能力、問題解決能力を高めることができた。

今後は探究活動によって身に付けた知見を実際に社会で活用して問題解決につなげるため、フィールドワークや他機関とのさらなる連携など、生徒の学びを外に広げていく必要がある。

また、今回の教育課程実施の対象を国際教養科としているため、校内での波及効果が限定的となっている。全生徒に効果を広げるため、対象生徒の見直しも視野に入れて今後の計画を立案する予定である。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

「グローバル探究」ではSDGsをテーマに学習を進めている。2030年までに達成すべき17の目標から、個々の生徒が興味・関心をもつ目標を選び、それについて

深く探究し、意見交換をする形式で探究活動を進めている。生徒は自分で問いを立て、解を見つけ、他者と意見交換をすることを通じて「豊かな人間性、創造性」を伸ばさせている。

また、SDGsの17の目標は、今後のよりよい社会の構築につながるものであり、今回の探究活動は学校教育法に示されている「社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと」という目標と合致している。

5. 課題の改善のための取組の方向性

本年度は新型コロナウイルス感染症に係る社会情勢の影響もあり、外部機関との連携が計画通りにできない面があった。今後はオンラインの活用も含めて、大学、高校、民間企業との連携を深め、さらに探究活動の質を高めていく予定である。

また、特別の教育課程の成果を生徒全体に広げるため、令和4年度については、国際教養科のみの取組ではなく、普通科も含めた全校的な取組に広げていく予定である。また、本年度実施した学校設定科目「グローバル探究」のカリキュラム開発に加え、「総合的な探究の時間」等も活用して探究活動や外部機関との連携による学びの成果を校内外に幅広く浸透させることを計画している。